

2009年度 アクシデント・レポート一覧

NO	発生日	水域	報告団体	事故形態	時間帯	気象	状況 及び 対応	損害
1	4月11日	川	大学	艇単独 (転覆)	11:00	晴	通常練習中。2Xが技量未熟のためバランスを崩して転覆。モーターボートを出し救助(水温が低く迅速な救助がなければ危険な状況であり、転覆・沈艇に対する対処法を事前に考えていなかった。 ⇒①技量未熟な選手に対する安定性のよいナックルフォアでの練習の実施 ②モーターボートを所有する大学・高校と練習時間を合わせる。	特になし
2	4月18日	湖	クラブ	艇VSゴムボート (衝突)	9:30	晴	通常練習中。8+が釣りをしていたゴムボートに接触、釣り人は水中に落下した。(COXはスタート時より死角になっていたためゴムボートを認識していなかった) ⇒クラブ内選手への確実な周囲の状況把握の徹底、釣り人への注意喚起	トップボール折損 ゴムボート船体破裂
3	4月25日	湖	高校	艇VS艇 (衝突)	11:45	雨	大会中。棧橋付近でレースから戻ってきた2Xと練習していた1Xがともに注意を払いつつ漕いでいたが水面が開いていると判断し、直角にトップ同士が交錯し、1Xが2Xに乗り上げた。⇒①進行方向及び周囲の安全確認励行の徹底、②毎年繰り返し注意喚起	2X艇底に損傷
4	5月16日	コース	クラブ	艇VS艇 (衝突)	9:00	曇	大会中。大会中の航行ルールの周知が十分でなく、大会に参加しスタートへ向かう高校女子2Xと練習中の社会人2Xがすれ違うときに接触した。⇒①クルーが多くなる大会期間中の周囲の状況への安全確認の徹底、②大会中の航行ルールの明確化	波よけ部破損 リガー変形
5	6月7日	川	クラブ	艇単独 (衝突)	8:20	曇	通常練習中。2Xがノーワークで漕行中、前方確認のタイミングが遅れ、岸より張り出した石組みに気付かず乗り上げた。	トップボール破損
6	6月13日	川	協会	艇単独 (転覆)	13:00	晴	大会中。中学男子1Xがスタート付近で方向転換しようとしてバランスを崩し転覆した。ヒールストラップを装着せず足が外れず溺れかかる。 ⇒①ヒールストラップ装着の徹底、②日常活動の中でその重要性を指導	(足首捻挫)
7	6月20日	湖	協会	艇VS釣り船 (衝突)	12:30	晴	大会中。審判交代中の休憩時間帯、水上監視が不十分な状況下、スタート方向へ向かう中学4X+が回漕コース上で停泊している釣り船に衝突した(釣り船はアンカーを設置していたため回避行動をとれず) ⇒①大会運営における待機(休憩)中の水域警備の強化、②貸し船業者への占有水域PRと水域近傍への注意喚起表示	トップボール変形 レーンプレート水没 (釣り人負傷)
8	7月25日	川	協会	3艇 (転覆)	12:00	晴	大会中。レース待機中の中学男子1X、2X、女子2Xが風向きに対して横向きになった際にバランスを崩し、次々と転覆した。PWEにて救助。⇒①気象状況の見極め、②レース中止決定の早期実施	特になし
9	8月3日	湖	協会	艇VS艇(衝突)	15:50	晴	大会中。前日配艇中リキングチェックのために水上に出ていた高校女子W4X+同士が衝突。強い日差しのため前方との距離感が掴みにくく、双方ともに接近が気づかない状況の中で静止していたクルーにレースピッチで漕いでいくクルーが衝突し、トップボールが静止クルーの船体に突き刺さった。⇒①大会運営における水域警備の強化とトラフィックルールの徹底、②航行ルールの作成・指導及び監視の徹底、危険回避能力の向上	両艇とも船体の一部損害 人的損傷 (軽度擦過傷)